

## 日々の田高（2年生化学基礎の授業から）

今回は、2年生の化学基礎の授業の一コマです。化学基礎では、現在「物質の変化」という章の中の「酸と塩基」という内容を学んでいます。今回の授業は、中和滴定の実験の際に、正しく実験を行うための準備の位置づけです。

この中和滴定は、既に濃度がわかっている溶液（水酸化ナトリウム水溶液）を使い、中和反応を利用して、濃度がわからない溶液（お酢）の濃度（お酢の中に含まれている酢酸の濃度）を測定します。指示薬を入れることで、中和した際に、色がパッと変わるところにも興味がかかります。

授業では、薬品を扱うために、安全ピペッターの使い方やホールピペットの使い方を全員が体験しました。

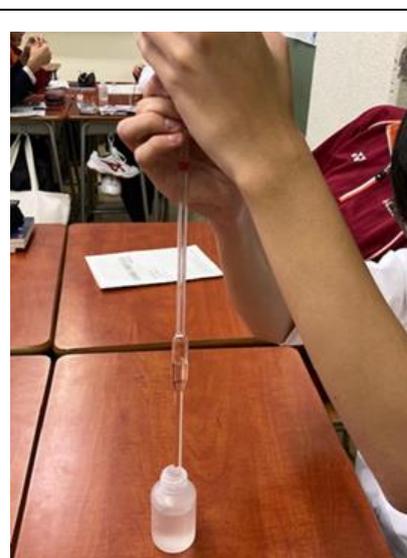
生徒たちは、安全ピペッターでの薬品の吸い上げ方に戸惑いつつも、次回の実験を楽しみに、積極的に取り組んでいました。



安全ピペッターをホールピペットにつけます。



薬品（今回は水）を10ml吸い上げます。



全員がピペットの扱いを学びます。